



だっこ通信

第8号

2021. 3月発行



だ いしょうぶ・つ ながる・こ そだて



あるある話「赤ちゃん返り」

T君はママのことが大好き。でもなんだか最近「赤ちゃん返り」をしてママを困らせます。弟が生まれたときは、「ぼくはお兄ちゃんになった」と張り切っていたのですが、この頃は「靴、履けない。履かせて。」「抱っこして。歩けない。」と甘えたり、赤ちゃん言葉を使ったりします。

T君の心の中をのぞいてみましょう

甘え

ぼく、本当はひとりで靴、履けるよ。でも今は履かせてほしい。ぼくのお世話もしてほしいの。

危機感

このままじゃたいへん！弟にママを取られちゃう。なんとかしなきゃ。

弟ばかりずるい。ぼくだって抱っこしてほしいのに。前はすぐに抱っこしてくれたのに。

ぼくを見て！ぼくだってまだできないことがあるのに。赤ちゃんみたいにすれば見てくれる？

嫉妬

ぼくのことも見えてね。忘れてないでね。見捨てないでね。

不安

T君は、ママの愛情が離れてしまうことを不安に思い、いろいろ心配していたんですね。さあT君のためにできることは？

★本日のお題

3つのラブコール

赤ちゃん返りは、子どもからの「見て見てサイン」です。下の子が生まれてどうしてもそちらに目が行きがちですが、上の子だってまだまだ甘えたい時期。「ぼくを見て。私もいるよ。」と自分に注目してほしいのです。そこで3つのラブコール！

- ①上の子と一日5分でもいいので**特別な時間を作る**ようにする。(遊び、散歩・・・なんでもOK)
- ②「M君がお昼寝したら、T君と積み木で遊べるから待っててね」のように**見通しをもたせる**。
- ③「さびしかったのね」「ママと〇〇したかったの？」のように、**気持ちを聞いてあげる**。